

苫小牧保健所の歯科保健事業のご紹介

～要介護高齢者歯科保健対策推進事業～

○目的

施設利用者様への食事介助・口腔ケア等に係る課題解決を多職種連携により図ることで、低栄養や誤嚥性肺炎を予防するとともに、介護関係職員の皆さまの知識や技術の向上が期待できます。

○内容

- ・利用者様の口腔内診査や食事・口腔ケアの様子の観察を行った上で多職種カンファレンスを開催し、課題への対応方法等について検討します。
- ・費用はすべて「無料」です。

○対象施設・事業所

- ・特養、老健、グループホーム等の介護サービス提供施設・事業所

○対応する職種

保健所の歯科医師・歯科衛生士に加え、苫小牧歯科医師会の協力により地域の歯科医師をカンファレンス等に派遣します。また、必要に応じ保健所のPT、OT や管理栄養士が同行することも可能です。

問い合わせ先：

苫小牧保健所企画総務課企画係

TEL 0144-34-4168

FAX 0144-34-4177



令和3年 2月 作成

今こそ大切！

利用者様への口腔ケア

～感染予防に配慮した安全・安心な取組を～



北海道苫小牧保健所

監修：(一社) 苫小牧歯科医師会

毎日の口腔ケアはとっても大切！

なぜなら・・・



● お口はウイルスや細菌の入り口です！

口腔ケアは誤嚥性肺炎の予防をはじめとした、
施設における重要な「感染予防対策」の1つです！

● お口の中は細菌などの微生物には快適！

口の中は、適度な温度、湿度に栄養分・・・
微生物にとって、非常に居心地の良い環境です！



そして・・・

● 口腔ケア用品は衛生的に管理を！

歯ブラシをはじめとした口腔ケア用品には細菌などが
多数付着しています。しっかりと洗浄・乾燥させましょう！



口腔ケアを行う際には・・・

● マスクとグローブを装着して行いましょう

● 定期的に施設内の換気を行いましょう

※ 苫小牧保健所が東胆振圏域の事業所を対象に行った独自調査では、ほとんどの事業所でマスクとグローブを装着し口腔ケアを実施していることが明らかになりましたが、ケアの前後に室内の換気を行っている事業所は7割程度に留まっていました。

※ フェイスシールドやゴーグル等の装着により、目を保護することも感染予防対策として非常に有効です。

※ 特に冬期間は体温が低下するとともに、身体の免疫力が下がるとされています。

さらに冬季には空気が乾燥することから、鼻やのどの粘膜が弱まり、寒さから換気がおろそかになることによって感染症のリスクが高まることも指摘されています。

